

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第714号（八月号）表紙

- ・夏の季語：「蚊遣り火」^{かやりび}／子季語：蚊遣・蚊いぶし・蚊取線香 等（三夏・生活）
- ・来月号（九月号）の兼題です。



蚊やアブなどを追い払うために松、杉、蓬などを焚いていぶすこと。現在では除虫菊を原料として練り固め、渦巻き状にした蚊取り線香や虫除けの成分を科学的に処理した液状のものなどがある。

- 有名俳人の句に以下のようなものがあります。
- ・蚊やり火や遊里の海はしんのやみ／飯田蛇笏
 - ・蚊火消ゆや乗鞍岳に星ひとつ／水原秋櫻子
 - ・家中に蚊遣火の紅ただ一点／山口誓子
 - ・月雲をいづれば燃ゆる蚊遣かな／芝不器男
 - ・蚊遣火の煙の末をながめけり／日野草城

☆前月の清記表に記載の中から選ばれた高得点句（5点以上）

- ・前月の清記表に記載された16名の112句のなかから互選で高得点を獲得した句です。

- ・巡り行く大和まほろば麦の秋／恵吾 6点
- ・風鈴や店主ひとりの散髪屋／緑汀 6点
- ・登下校植田に映るランドセル／温州 5点
- ・梅雨に入る低きソファの純喫茶／穂心 5点
- ・暮ゆけば濃く十葉の白十字／草炎 5点
- ・土用波草を食みたる岬馬／恭行 5点
- ・学校の田植盆授業や泥の顔／勝 5点
- ・国産みの島のもてなし鱧づくし／温州 5点

*以下は4点句（惜しい！もう少しで5点）です。

- ・夏草や万骨枯るる古戦場／恵吾
- ・ワンルームでも住めば都や金魚玉／恵吾
- ・幼子の泣くだけ泣いて午睡かな／緑汀
- ・梅雨晴や駅に数多の忘れ傘／甲舟

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の18名
- ・昭和38年（1963年）結成 約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

（文責：平林 温州）